



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月3日

上場会社名 株式会社ダイセル

上場取引所 東

コード番号 4202 URL <https://www.daicel.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小河 義美

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 事業支援本部副本部長(兼) I R広報グループリーダー (氏名) 廣川 正彦 (TEL) 03-6711-8121

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	130,802	2.2	9,118	△29.8	12,693	△17.8	14,984	68.3
2023年3月期第1四半期	127,981	14.9	12,989	△6.8	15,447	1.4	8,903	△27.5

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 30,924百万円(26.1%) 2023年3月期第1四半期 24,514百万円(28.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	52.46	—
2023年3月期第1四半期	30.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	784,705	335,604	40.8	1,120.05
2023年3月期	765,606	310,435	38.6	1,033.52

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 319,922百万円 2023年3月期 295,209百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	18.00	—	20.00	38.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	22.00	—	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	271,000	1.8	21,000	△19.3	21,500	△28.9	15,000	△32.5	52.51
通期	572,000	6.3	53,000	11.6	55,000	5.7	44,000	8.2	154.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	286,942,682株	2023年3月期	302,942,682株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,311,123株	2023年3月期	17,307,785株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	285,632,636株	2023年3月期1Q	295,708,227株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありうることをご承知おきください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、経済活動の正常化に伴い景気の緩やかな持ち直しの動きが続いたものの、世界的な金融引締めに伴う影響、物価上昇、ウクライナ情勢の長期化など、先行き不透明な状況のうちに推移しました。

当社グループの主要市場でも一部で需要の回復傾向がみられたものの、その回復が緩やかなものにとどまるなど、厳しい事業環境となりました。このような環境の中、当社グループでは、需要が伸長する製品については販売機会を着実に捉え販売数量を伸ばすとともに、収益改善に向けた取り組みの加速、徹底したコストダウンなどを実施してまいりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は1,308億2百万円(前年同期比2.2%増)、営業利益は91億18百万円(同29.8%減)、経常利益は126億93百万円(同17.8%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益などにより、149億84百万円(同68.3%増)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

なお、当連結会計年度より、化粧品原料の1,3-ブチレングリコールをメディカル・ヘルスケア事業セグメントからマテリアル事業セグメントへ、新規投与デバイスの研究開発機能をセイフティ事業セグメントからメディカル・ヘルスケア事業セグメントへ移管しています。前年同期比較については、前年同期の数値を移管後のセグメントに組み替えて比較しております。

[メディカル・ヘルスケア事業]

ライフサイエンス事業は、キラル関連製品の販売が好調に推移したものの、前年度末に医薬品開発製造受託事業の子会社を売却した影響により、減収となりました。

コスメ・健康食品事業は、健康食品素材の販売数量が減少したことなどにより、減収となりました。

当部門の売上高は、33億75百万円(前年同期比15.1%減)、コスメ・健康食品事業の販売数量の減少などにより、営業利益は3億15百万円(同10.5%減)となりました。

[スマート事業]

液晶表示向けフィルム用の酢酸セルロースや高機能フィルムなどのディスプレイ/オプト事業は、液晶パネルの在庫調整が進んだものの本格的な需要回復には至らず、酢酸セルロースの販売数量が減少したことや、主要顧客向けの販売が遅れ高機能フィルムの販売数量が減少したことなどにより、減収となりました。

電子材料向け溶剤やレジスト材料などのIC/半導体事業は、半導体の需要減少や液晶パネルの需要が本格的な回復に至らなかったことで販売数量が減少し、減収となりました。

当部門の売上高は、75億47百万円(前年同期比21.1%減)、利益面では、販売数量の減少や原料価格の上昇などにより、営業損失6億43百万円(前年同期は営業利益11億39百万円)となりました。

[セイフティ事業]

自動車エアバッグ用インフレーター(ガス発生装置)などのモビリティ事業は、自動車生産が前年同期より回復し販売数量が増加したことなどにより、増収となりました。

当部門の売上高は、223億94百万円(前年同期比25.9%増)、利益面では、生産地統廃合に伴う経費の増加などにより、営業損失6億51百万円(前年同期は営業損失1億76百万円)となりました。

[マテリアル事業]

酢酸は、主要誘導品の酢酸ビニルや高純度テレフタル酸の需要減少による販売数量の減少や、酢酸市況の軟化により、減収となりました。

酢酸誘導体は、電子材料やディスプレイ向けの需要減少により販売数量が減少し、減収となりました。

アセテート・トウは、加熱式たばこ用の需要増加などによる販売数量の増加、原燃料価格上昇や旺盛な需要を受けた販売価格の是正などにより、増収となりました。

カプロラクトン誘導体、エポキシ化合物、1,3-ブチレングリコールは、国内の化粧品向け需要の回復により

1,3-ブチレングリコールの販売数量が増加したものの、電子材料やディスプレイ向けの需要減少によりエポキシ化合物の販売数量が減少したことなどにより、減収となりました。

当部門の売上高は、459億97百万円(前年同期比27.4%増)、販売価格の是正や為替の影響などにより、営業利益は93億96百万円(同87.9%増)となりました。

[エンジニアリングプラスチック事業]

ポリアセタール樹脂、PBT樹脂、液晶ポリマーなどポリプラスチック株式会社の事業は、国内の自動車向け需要は回復傾向にあるものの、海外の自動車市場や、IT関連産業の需要低迷などにより販売数量が減少し、減収となりました。

ABS樹脂、エンブラアロイ樹脂、フィルム、水溶性高分子などダイセルミライズ株式会社の事業は、巣ごもり需要の減少や顧客の在庫の影響などにより販売数量が減少し、減収となりました。

当部門の売上高は、503億25百万円(前年同期比14.3%減)、販売数量の減少などにより、営業利益は7億34百万円(同88.8%減)となりました。

[その他]

その他部門は、防衛関連事業からの撤退などにより、減収となりました。

当部門の売上高は、11億61百万円(前年同期比35.8%減)、営業損失33百万円(前年同期は営業利益1億2百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

総資産は、現金及び預金や有形固定資産等の増加により、前連結会計年度末に比し190億98百万円増加し、7,847億5百万円となりました。

負債は、短期社債等の減少により、前連結会計年度末に比し60億69百万円減少し、4,491億1百万円となりました。

また純資産は、3,356億4百万円となりました。純資産から非支配株主持分を引いた自己資本は、3,199億22百万円となり自己資本比率は40.8%となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	93,840	98,819
受取手形及び売掛金	101,534	97,177
棚卸資産	177,169	179,752
その他	34,149	33,168
貸倒引当金	△66	△82
流動資産合計	406,627	408,834
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	64,809	65,916
機械装置及び運搬具（純額）	74,802	75,307
土地	35,639	36,084
建設仮勘定	75,803	85,370
その他（純額）	5,076	5,606
有形固定資産合計	256,130	268,284
無形固定資産		
のれん	338	351
その他	10,853	11,153
無形固定資産合計	11,191	11,504
投資その他の資産		
投資有価証券	67,914	71,649
繰延税金資産	2,425	2,390
退職給付に係る資産	7,648	7,575
その他	13,707	14,503
貸倒引当金	△40	△37
投資その他の資産合計	91,656	96,081
固定資産合計	358,978	375,870
資産合計	765,606	784,705

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	56,167	53,788
短期借入金	36,267	32,053
短期社債	30,000	20,000
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	12,742	13,008
未払法人税等	5,343	3,064
修繕引当金	3,565	1,378
その他	46,768	51,559
流動負債合計	220,856	204,854
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	108,823	111,817
繰延税金負債	14,394	18,870
役員退職慰労引当金	71	33
環境対策引当金	122	122
退職給付に係る負債	4,735	4,746
資産除去債務	1,170	1,204
その他	4,995	7,450
固定負債合計	234,314	244,246
負債合計	455,170	449,101
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,275	36,275
資本剰余金	132	126
利益剰余金	204,529	199,280
自己株式	△15,716	△1,189
株主資本合計	225,221	234,492
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,906	37,472
繰延ヘッジ損益	43	43
為替換算調整勘定	33,519	44,515
退職給付に係る調整累計額	3,519	3,398
その他の包括利益累計額合計	69,988	85,430
非支配株主持分	15,225	15,681
純資産合計	310,435	335,604
負債純資産合計	765,606	784,705

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	127,981	130,802
売上原価	89,756	97,081
売上総利益	38,225	33,720
販売費及び一般管理費	25,235	24,602
営業利益	12,989	9,118
営業外収益		
受取利息	64	285
受取配当金	600	841
持分法による投資利益	544	595
為替差益	1,480	1,996
その他	334	437
営業外収益合計	3,024	4,156
営業外費用		
支払利息	362	418
社債発行費	—	0
その他	203	162
営業外費用合計	566	581
経常利益	15,447	12,693
特別利益		
投資有価証券売却益	—	7,917
固定資産処分益	6	3
特別利益合計	6	7,920
特別損失		
固定資産除却損	298	175
事業整理損	552	—
特別損失合計	851	175
税金等調整前四半期純利益	14,603	20,438
法人税、住民税及び事業税	3,123	2,948
法人税等調整額	2,292	2,500
法人税等合計	5,415	5,449
四半期純利益	9,187	14,989
非支配株主に帰属する四半期純利益	284	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,903	14,984

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	9,187	14,989
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△979	4,566
繰延ヘッジ損益	12	—
為替換算調整勘定	14,050	11,195
退職給付に係る調整額	1,646	△115
持分法適用会社に対する持分相当額	597	288
その他の包括利益合計	15,327	15,935
四半期包括利益	24,514	30,924
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,795	30,425
非支配株主に係る四半期包括利益	719	499

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	メディカ ル・ヘルス ケア	スマート	セイフティ	マテリアル	エンジニア リングプラ スチック	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	3,977	9,561	17,786	36,102	58,744	126,173	1,808	127,981	—	127,981
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	50	35	—	4,345	79	4,510	3,126	7,637	△7,637	—
計	4,027	9,596	17,786	40,448	58,824	130,683	4,935	135,619	△7,637	127,981
セグメント利益 又は損失(△)	352	1,139	△176	5,001	6,570	12,887	102	12,989	—	12,989

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業および運輸倉庫業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	メディカ ル・ヘルス ケア	スマート	セイフティ	マテリアル	エンジニア リングプラ スチック	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	3,375	7,547	22,394	45,997	50,325	129,640	1,161	130,802	—	130,802
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	84	—	2,386	53	2,525	3,398	5,923	△5,923	—
計	3,375	7,632	22,394	48,384	50,378	132,165	4,559	136,725	△5,923	130,802
セグメント利益 又は損失(△)	315	△643	△651	9,396	734	9,151	△33	9,118	—	9,118

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業および運輸倉庫業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

当第1四半期連結会計期間において、従来「メディカル・ヘルスケア」に含めていた化粧品原料1,3-ブチレングリコールを、「マテリアル」に変更し、「セイフティ」に含めていた新規医療デバイスの研究開発機能を、「メディカル・ヘルスケア」に変更しております。

なお、前第1四半期連結会計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分に基づき作成したものを開示しております。

(重要な後発事象)

2023年7月4日に、当社グループのDaicel Safety Systems (Thailand) Co., Ltd. (DSST) の一部サーバーにおいてランサムウェア被害が発生いたしました。現在、外部専門家の協力のもと調査を開始するとともに、システムの保護と復旧に向けて作業を進めております。

なお、本件の当社グループの今後の業績に及ぼす影響については現在精査中であります。今後、業績に大きな影響が見込まれる場合は、速やかにお知らせします。